

PT・OT・STのための 「気管吸引」「吸引以外の排痰法」実践セミナー（横浜）

講師

大江元樹 先生 もとき内科クリニック院長（呼吸器学会専門医・指導医）
阿萬由香 先生 湘南鎌倉総合病院ER看護師長（クリティカルケア認定看護師）
堀越一孝 先生 湘南藤沢徳洲会病院理学療法士（認定（呼吸）理学療法士・呼吸療法認定士）
渡邊宏樹 先生 湘南藤沢徳洲会病院理学療法士（Knowledge Link代表・PT・呼吸療法認定士）

気管吸引のトレーニングを、徹底的に。

喀痰吸引に関する教育研修の場はごく少数で、限られた時間の中で行われざるを得ないのが現状です。吸引は、知識の習得だけでは不十分で、実際に安全に実施できるレベルまでの実践的なトレーニングが不可欠です。本セミナーは、講義以上に実習と反復練習に時間を割き、「できるようになる」こと自体に焦点を当てた構成としています。

医師や看護師による講義・実習がどうしても必要です。

気管吸引は、低侵襲な手技と見なされることもありますが、実際には患者の状態次第でリスクを伴う行為です。そのため、呼吸器内科専門医による医学的な解説と、日常的に吸引を実践している経験ある看護師による現場レベルの解説の両方が欠かせません。吸引は単なる手技ではなく、臨床判断の連続であり、理学療法士から理学療法士への伝達講習だけでは絶対に不十分です。本セミナーでは、医師・看護師・理学療法士の三者による講義と実習を組み合わせています。

吸引以外の排痰法。吸引そのもの以上に重要です。

吸引以外の排痰法。気管吸引に比べ圧倒的に低侵襲的で、患者さんにとってははるかに苦しくない。だからこそ、吸引そのもの以上に重要だと考えています。

国内屈指の呼吸療法チームによる実践セミナーです。

本セミナーでは、これらのタスクを網羅するため、この領域において国内第一人者である呼吸器学会専門医・指導医の大江元樹先生を中心に、集中ケア認定看護師の阿萬由香先生、呼吸療法を専門とする理学療法士の堀越一孝先生のチームをお招きして、呼吸器系の基礎理解・胸部理学所見のアセスメント・感染管理と吸引操作・吸引以外の排痰援助をキーワードとした実践的な講義・実習を行って頂きます。

セミナー内容

対象：PT / OT / ST / その他

2026年12月19日（土）

呼吸器系の基礎理解と喀痰吸引の全てを学ぶ！

- ①呼吸器系の解剖生理を理解する—咽頭・喉頭・気管を動画で見よう！
- ②口腔内吸引の基本—痰はどこにあるのか？
- ③危険な口腔内吸引—いつ吸引圧をきりますか？患者さんの病態を理解していますか？
- ④気管吸引概略—気管吸引ガイドラインを読み解く
- ⑤吸引に必要なフィジカルアセスメント—聴診のプロになろう！
- ⑥清潔操作をマスターしよう
- ⑦気管切開チューブ・挿管チューブ内吸引の実習
- ⑧シュミレーターによる口腔内吸引（経口・経鼻）の実習
- ⑨参加者同士の吸引実習—患者体験が一番重要です！
- ⑩質疑応答

2026年12月20日（日）

吸引以外の排痰援助の全てを学ぶ！

- ①なぜ排痰援助は必要か
- ②排痰援助は、「気管吸引ガイドライン」ではどのような位置づけか
- ③様々な排痰援助の方法—体位排痰法・スクウィーピング・バイブレーション・パーカッション・ポストリフツ・その他—
- ④咳の応用や器具を使った排痰援助—ハフティング・インセンティブスパイロメトリ・アカペラ・その他—
- ⑤新しい排痰機器をどう使いこなすか—カフアシスト・RTX・スマートベストを中心に—
- ⑥ケーススタディー
- ⑦参加者同士の排痰援助実習—スクウィーピング・スプリング・ポストリフツ・新しい排痰機器を中心—
- ⑧質疑応答

日時

2026年12月19日（土）/12/20（日） 10:00～16:00（9:30受付開始）

ウイリング横浜（19日：501号室 / 20日：901号室） 横浜市港南区上大岡西1-6-1

1名での受講の場合 / 片日受講13,000円/人 両日受講24,000円/人
3名以上での受講の場合 / 片日受講12,000円/人 両日受講22,000円/人



ウイリング横浜

気管吸引・
吸引以外の排痰援助セミナー
2026.12.19-20 [土日]

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

ナレッジリンクHP

